

科目名		臨床医学各論 1							年度	2024	
英語科目名		Special Clinical Medicine 1							学期	後期	
学科・学年		鍼灸科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		大下裕之		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】											
「消化器疾患」「肝・胆・膵疾患」「循環器疾患」についての知識を理解することを目的とする。各疾患について、性差や好発年齢などの疫学、疾患を引き起こす原因、臨床症状を学び、単純 X 線や C T 検査などの画像診断や血液所見などの診察所見、薬物療法や外科的手術などの治療法を学び、予後などを推察できるようになることを目標とする。											
【科目の概要】											
臨床活動を行ううえで必要な知識である「疾患」に関する知識を、現代医学的な観点から学びます。											
【到達目標】											
A. 消化器疾患について各疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 B. 肝臓の機能や肝炎ウイルスの特徴を理解したうえで、各肝臓疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 C. 各胆嚢疾患や胆道系の障害について病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 D. 膵内・外分泌腺組織の機能を理解したうえで、各膵臓疾患の病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。 E. 血液疾患について病態に基づき症状や検査所見が理解できるようになる。											
【授業の注意点】											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力						
到達目標 A	病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	病態理解はできないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。						
到達目標 B	病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	病態理解はできないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。						
到達目標 C	病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	病態理解はできないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。						
到達目標 D	病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	病態理解はできないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。						
到達目標 E	病態をもとに症状や所見の発現機序を詳しく説明することが出来る	ある程度の病態理解が出来、症状や所見を挙げることができる。	病態理解は出来ないが、参考資料を見なくても症状や所見を挙げることができる。	病態理解はできないが、参考資料をもとに症状や所見を挙げることができる。	病態を理解することができず、症状や所見を挙げることができない。						
【教科書】											
臨床医学各論（医歯薬出版社）											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
中間試験・期末試験で評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		臨床医学各論 1			年度	2024
英語表記		Special Clinical Medicine 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	消化器疾患	消化管構造を理解する	1 消化管の構造	消化管構造を理解している	3	
			2 消化管の機能	消化管の機能を理解している		
2		食道疾患を理解する	1 食道癌・食道憩室	食道癌・食道憩室について理解している	3	
			2 マロリーワイス症候群	マロリーワイス症候群について理解している		
			3 胃・食道逆流症	胃・食道逆流症について理解している		
3		胃・十二指腸疾患を理解する	1 消化性潰瘍	消化性潰瘍について理解している	3	
			2 胃癌	胃癌について理解している		
4			1 ダンピング症候群	ダンピング症候群について理解している	3	
			2 急性胃粘膜病変	急性胃粘膜病変について理解している		
			3 機能性ディスペプシア	機能性デスベプシアについて理解している		
5		小腸・大腸疾患を理解する	1 急性腸炎	急性腸炎について理解している	3	
			2 過敏性腸症候群	過敏性腸症候群について理解している		
			3 急性虫垂炎	急性虫垂炎について理解している		
6		1 ダンピング症候群	ダンピング症候群について理解している	3		
		2 大腸癌	大腸癌について理解している			
		3 過敏性大腸炎・クローン病	過敏性腸症候群・クローン病について理解している			
7	肝臓疾患	肝臓疾患を理解する	1 急性肝炎	急性肝炎について理解している	3	
			2 慢性肝炎	慢性肝炎について理解している		
			3 劇症肝炎	劇症肝炎について理解している		
8		1 肝硬変	肝硬変について理解している	3		
		2 肝細胞癌	肝細胞癌について理解している			
		3 脂肪肝	脂肪肝について理解している			
9	胆嚢疾患	胆嚢疾患を理解する	1 胆石胆嚢炎	胆石胆嚢炎について理解している	3	
			2 胆嚢癌	胆嚢癌について理解している		
10	膵臓疾患	膵臓疾患を理解する	1 急性膵炎	急性膵炎について理解している	3	
			2 慢性膵炎	慢性膵炎について理解している		
			3 膵臓癌	膵臓癌について理解している		
11	血液疾患	赤血球疾患を理解する	1 貧血総論	貧血の概要について理解している	3	
			2 鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血について理解している		
			3 巨赤芽球性貧血	巨赤芽球性貧血について理解している		
12			1 再生不良性貧血	再生不良性貧血について理解している	3	
			2 溶血性貧血	溶血性貧血について理解している		
13		白血球疾患を理解する	1 白血病	白血病について理解している	3	
	2 悪性リンパ腫		悪性リンパ腫について理解している			
14	出血性疾患を理解する	1 特発性血小板減少性紫斑病	特発性血小板減少性紫斑病について理解している	3		
		2 血友病	血友病について理解している			
		3 播種性血管内凝固	播種性血管内凝固について理解している			
15	試験解説					

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等